

くらしの情報

2023.2

No.129

●編集・発行 さいたま市消費生活総合センター

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2 JACK大宮6階 TEL.048-643-2239 FAX.048-643-2247

訪問販売による屋根工事の 契約トラブルにご注意ください!



相談事例

事例①

「近所で瓦修理をしている。そこから見たらお宅の瓦がずれている」と訪問業者に言われ、以前雨漏りをしたこともあり屋根に上がって点検してもらい、屋根の写真を見せられ信用して屋根工事の契約をした。しかし、よくみると瓦のずれている場所は雨漏りしている場所ではないし、高額な契約のためクーリング・オフしたい。

事例②

「向かいの家で工事をしているが、お宅の屋根の状態が悪いのですぐに工事が必要だ」と訪問業者に言われ、無料で点検するというので後日来てもらい屋根工事の契約をした。しかし落ち着いて考えると、向かいの家は工事をしておらず不信感を持ったため、クーリング・オフしたい。



業者は言葉巧みに消費者の不安を煽ったり、「無料で点検」という言葉で消費者を安心させようとしたりします。そして「風で飛んだら危ない」「すぐに工事が必要」などと契約を急かし、落ち着いた判断をさせないまま契約させます。



さいたま市消費生活総合センター
マスコットキャラクター
さいたましょうこちゃん

しょうこちゃんからのアドバイス



突然訪問してきた事業者に安易に点検させないようにしましょう。点検箇所をわざと壊して勧誘するなど、悪質なケースも見られます。



点検後に修理を勧められてもその場で契約しないようにしましょう。別の専門家に確認を依頼したり、複数の事業者から見積もりを取ったりして工事内容や金額などを十分に検討しましょう。



家族や周囲の人は、不審な人物が来ていないか、見慣れない書面がないかなど、高齢者の様子に気を配りましょう。



工事終了後でも、クーリング・オフできる場合があります。

不安に感じた時や困った時には、消費生活センターに相談しましょう。

※市内3か所の消費生活センターの詳細は、裏面をご確認ください。

エシカル消費について知ろう!



エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人、社会、地域、環境に配慮した消費行動のことです。私たち一人一人が日々の買い物などを通して、社会的課題に気づき、その課題の解決のために、自分で何ができるのか考えてみることで、これが、エシカル消費の第一歩です。

人・社会への配慮

- フェアトレード商品を選ぶ
- 障害者支援につながる商品を選ぶ
- 寄付付き商品を選ぶ など

地域への配慮

- 地元の産品を購入する(地産地消)
- 被災地の産品を購入する(被災地支援)
- 伝統工芸品を購入する など



環境への配慮

- エコ商品を選ぶ
- お買い物のときにマイバッグを使う
- マイボトルを利用する など



SDGs(持続可能な開発目標)とエシカル消費の関係

SDGsの17の目標のうち、目標12「つくる責任 つかう責任」に、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられており、2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにすることなどが盛り込まれています。エシカル消費は、この目標の理念にも通じる消費行動と考えられています。



消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、世界の未来を変えるために、今から行動しましょう!

消費者行政の推進について 〈市長からのメッセージ〉

近年、SNSの普及によるコミュニケーションの迅速化、決済方法の多様化など、消費者を取り巻く環境は大きく変化しています。これにより、消費者にとっての利便性は飛躍的に向上しましたが、その一方で、消費者トラブルは複雑化し、高齢者や若年者が巻き込まれるケースも少なくなく、心配な状況が続いています。

市民の皆さんが、安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる社会の実現を目指して、悪質商法などに狙われやすい高齢者や、令和4年4月に成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、消費者トラブルの増加が懸念される若年者への支援の強化などを重点的に取り組んでまいります。

さいたま市長 清水 勇人

～香りのエチケット～



近年、香り付きの柔軟仕上げ剤が人気を集め、様々な香り付き商品が多く販売されています。その一方で強いにおいによって体調不良になったという相談が寄せられています。

相談事例 柔軟仕上げ剤を使用したところ、においで気持ち悪く、体調不良になった。

消費者へのアドバイス

- ・商品を選ぶ際には、店頭にあるおののサンプルや、香りの強さの表示を参考にしましょう。
- ・自分にとっては良いにおいでも、他人にとっては不快に感じたり、具合が悪くなる人もいることを認識しましょう。

消費生活相談窓口

消費生活総合センター
JACK大宮6階

ビックカメラ
ソニックシティ
鐘塚公園
大宮
アルシェ
ダイエー丸井

消費生活総合センター
☎ 048-645-3421(相談窓口)
☎ 048-643-2247
相談受付 月曜～土曜日
相談時間 9時～17時
※受付は16時30分まで

浦和消費生活センター
コムナール9階

高砂仲町線
市民広場
浦和駅

浦和消費生活センター
☎ 048-871-0164(相談窓口)
☎ 048-883-4893
相談受付 月曜～土曜日
相談時間 9時～17時
※受付は16時30分まで

岩槻消費生活センター
岩槻区役所3階

至春日部
東武野田線
岩槻駅
至大宮

岩槻消費生活センター
☎ 048-749-6191(相談窓口)
☎ 048-749-6193
相談受付 月曜～金曜日
相談時間 9時～12時、13時～17時
※受付は16時30分まで

日曜日の電話相談 9時～16時 ☎ 048-645-3421 ☎ 048-643-2247

※祝休日、年末年始 除く

〈お問い合わせ〉さいたま市消費生活総合センター TEL 048-643-2239 FAX 048-643-2247

ホームページ

さいたま市消費生活総合センター

検索



このくらしの情報は、2,000部作成し、1部当たりの印刷経費は27円です。